

資料 4.

平成 29 年度農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 (薬液散布量に関する予備調査)

1. 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所

(1) 試料の生育状況

2017 年 1 月 10 日における供試作物の生育状況及び耕種概要についてまとめた。作物の状況を図 1 にまとめた。

草丈：各トマトとも 180cm 前後

耕種概要

大玉トマト：

品種：CF 桃太郎はるか(台木グリーンガード)、定植：2017/10/26

畝間：180cm、株間：40cm、2 条植え、10a 当たりの株数：2780 株

中玉トマト：

品種：レッドオーレ(台木グリーンガード)、定植：2017/10/26

畝間：180cm、株間：40cm、2 条植え、10a 当たりの株数：2780 株

ミニトマト：

品種：ペペ(台木グリーンガード)、定植：2017/10/26

畝間：180cm、株間：40cm、2 条植え、10a 当たりの株数：2780 株

(2) 大玉トマトにおける散布量の比較

大玉トマトに 240L/10a、250L/10a、270L/10a の各散布量の水を散布して、葉および果実への付着状況を観察した(図 2)。なお、使用した散布機は丸山製作所製 MSB1500LI(同社製狭角コーン 1 頭口ノズル装着)。その結果、240L/10a では葉からの水のしったり落ちが少なめであったのに対し、250L/10a および 270L/10a では、全体からしったり落ちる量であった。果実への付着についても同様の傾向であったことから、250L/10a 量が今回の試験に適正であると考えられた。

(3) 中玉トマト及びミニトマトへの散布状況

大玉トマトで適正とした 250L/10a 量の中玉トマトおよびミニトマトに散布した結果、十分な付着が確認された(図 3)。



大玉トマト 茎葉



大玉トマト 果実



中玉トマト 茎葉



中玉トマト 果実



ミニトマト 茎葉



ミニトマト 果実

図 1. 散布前の各作物の様子



240L/10a 葉



240L/10a 果実



250L/10a 葉



250/10a 果実



270L/10a 葉



270L/10a 果実

図 2. 大玉トマトにおける 240L/10a、250L/10a および 270L/10a 水散布直後の濡れの様子



中玉トマト 葉



中玉トマト 果実



ミニトマト 葉



ミニトマト 果実

図 3. 250L/10a 水散布直後の濡れの様子

2. 一般社団法人日本植物防疫協会 高知試験場

(1) 試料の生育状況

2017 年 1 月 11 日における供試作物の生育状況及び耕種概要についてまとめた。作物の状況を図 1 (1 月 15 日撮影) にまとめた。

供試作物の生育状況：各トマトともに草丈 180cm

耕種概要

大玉トマト：

品種：ハウス桃太郎(台木：B バリア)、定植：2017/10/27

畝間：150cm、株間：50cm、千鳥 2 条植え、10a 当たりの株数：2700 株

中玉トマト：

品種：レッドオーレ(台木：B バリア)、定植：2017/10/27

畝間：150cm、株間：50cm、千鳥 2 条植え、10a 当たりの株数：2700 株

ミニトマト：

品種：キャロル 7 (台木：B バリア)、定植：2017/10/27

畝間：150cm、株間：50cm、千鳥 2 条植え、10a 当たりの株数：2700 株

(2) 散布量の確認

大玉トマト、中玉トマトおよびミニトマトに 280L/10a で一般防除(2017/1/11 散布)を行い、葉および果実の付着状況を確認した。なお、使用した散布機は丸山製作所製 MSB1100Li(同社製狭角コーン 1 頭口ノズル装着)を使用した。

その結果、280L/10a の散布量で葉および果実からしたたり落ちる程度の付着であったため、適量と判断した。



大玉トマト 茎葉



大玉トマト 果実



中玉トマト 茎葉



中玉トマト 果実



ミニトマト 茎葉



ミニトマト 果実

図 1. 各作物の生育状況 (2018/1/15 撮影)

3. 一般社団法人日本植物防疫協会 宮崎試験場

(1) 試料の生育状況

2017 年 1 月 19 日における供試作物の生育状況及び耕種概要についてまとめた。

供試作物の生育状況：各トマトともに草丈 180cm 前後

耕種概要

大玉トマト：

品種：桃太郎ピース(台木がんばる根)、定植：2017/11/27

畝間：160cm、株間：50cm、2 条植え、10a 当たりの株数：2500 株

中玉トマト：

品種：レッドオーレ(台木がんばる根)、定植：2017/11/27

畝間：150cm、株間：40cm、2 条植え、10a 当たりの株数：3300 株

ミニトマト：

品種：千果(台木がんばる根)、定植：2017/11/27

畝間：150cm、株間：40cm、2 条植え、10a 当たりの株数：3300 株

(2) 散布量の比較

各トマトに 230L/10a、250L/10a の各散布量の水を散布して、葉および果実への付着状況を観察した(図 1-1、1-2)。なお、使用した散布機は丸山製作所製 MSB1500Li(同社製狭角コーン 1 頭口ノズル装着)。

その結果、何れのトマトも 230L/10a で葉や果実からの水のしたたり落ちが確認され、250L/10a 散布では、何れのトマトも株全体からしたたり落ちる量であり、果実へも十分な付着が観察された。特に中玉およびミニトマトに関しては、大玉トマトに比較して葉の茂り具合が密であるため、250L/10a 量が今回の試験に適正であると考えられた。



大玉トマト 230L/10a 茎葉



大玉トマト 230L/10a 果実



大玉トマト 250L/10a 茎葉



大玉トマト 250L/10a 果実



中玉トマト 230L/10a 茎葉



中玉トマト 230L/10a 果実

図 1-1. 230L/10a、250L/10a 水散布直後の濡れの様子



中玉トマト 250L/10a 茎葉



中玉トマト 250L/10a 果実



ミニトマト 230L/10a 茎葉



ミニトマト 230L/10a 果実



ミニトマト 250L/10a 茎葉



ミニトマト 250L/10a 果実

図 1-2. 230L/10a、250L/10a 水散布直後の濡れの様子